

学校名

広島県立庄原実業高等学校

平成 28 年度スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール 事業計画書

I 委託事業の内容

1. 研究開発課題名

地域産業（農業）の創生とグローバル化に対応できる将来のプロフェッショナルの育成 — 里山のチカラを世界へ —

2. 研究の目的

(1) 研究開発の目的

地域産業（農業）の創生とグローバル化に対応できる将来のプロフェッショナルを育成する。

〈目指す生徒像〉

- ◆ 将来のプロフェッショナルを目指し、主体的に学ぶ姿勢と学び方を身に付けている。
- ◆ 将来のプロフェッショナルになるための専門的な知識と技術、実践力を身に付けている。
- ◆ 郷土を愛し、地域や産業（農業）の発展に貢献しようとする意欲をもっている。
- ◆ 異なる文化や文明を理解し、視野を広げ、国際感覚を身に付けるとともに、他者と協働して新たな価値を創造できる。

(2) 研究開発の仮説

- プロフェッショナルの高度な知識や技術にふれることにより、将来の明確な目標を設定することができ、主体的に学ぼうとする態度を育むことができる。
- 生徒に身に付けさせる力を明確にし、適切な指導計画と指導方法（授業づくり）を確立することにより、生徒に、将来のプロフェッショナルになるための専門的な知識と技術、実践力を確実に身に付けさせることができる。
- 地域の伝統文化や産業に触れることにより、郷土を愛し、地域の発展に貢献しようとする意欲を育むことができる。
- 姉妹校の台湾国立関西高級中学と連携した交流学习を積極的に展開することにより、異なる文化や文明を理解させ、視野を広げ、国際感覚を身に付けさせるとともに、他者と協働して新しい価値を創造する力を育成することができる。

3. 実施期間

契約日から平成 29 年 3 月 15 日まで

4. 当該年度における実施計画

(1) 研究の概要

ア 地域産業（農業）の創生とグローバル化に対応できる将来のプロフェッショナルの育成に関わる学習プログラムの実践と検証

(ア) 学習プログラムによって育成する資質・能力に関する研究

本研究開発の学習プログラムによって育成する資質・能力について、「マインドに関する領域」と「スキルに関する領域」の二つの視点から学習の目標を明確に設定し、生徒の成長や変容をアウトカム評価でとらえることができるよう評価の指標や方法について研究する。その際、イ（ア）のキャリア教育の「基礎的・汎用的能力」に関する研究との関連を図る。

a マインドに関する領域

アイデンティティの確立（自己の在り方・生き方、高い職業意識と規範意識、協調性、チャレンジ精神、郷土愛、異文化理解等）に関わる指導と評価の一体化について研究する。

b スキルに関する領域

将来のプロフェッショナルになるための専門的な知識と技術、実践力の習得に関わる評価の指標となる「庄実版スタンダード」(到達目標)を改善する。その際、各種の資格・検定との関連を図る。

1年目に作成した、「庄実版スタンダード」を全教科で実施・改善する。

「庄実版スタンダード」の実用に当たっては、生徒の学習到達度を適切に評価できるよう「庄実版スタンダード」に基づいた評価基準（ルーブリック）の作成を行う。

(イ) 学校設定科目「地域農業探究」の実践と検証【1学年】

地域産業（農業）の創生に向けて、地域の農業や文化、歴史、農村生活等について、フィールドワークを含めた調査・研究を行い、地域についての理解を深め、郷土愛を醸成するための学習内容及び指導方法等について実践・検証を行う。また、学校設置科目「地域農業探究」と学校設置科目「農業実践研究」との接続を図る。地域農業や文化、歴史、農村生活等についてのフィールドワークによる調査・研究では、地域で活躍している農業経営者等のプロフェッショナルから聞き取りを行うことで、その方がどのように課題を克服してきたのか等を生徒に聞かせ、将来のプロフェッショナルに向けてのロールモデルとなるように取組を進める。

(ウ) 姉妹校「国立関西高級中学」（台湾）と連携した交流学习【2学年】

グローバル化に対応するため、本校が姉妹校提携を結んでいる「国立関西高級中学」（台湾）と連携し、文化交流をはじめ、農業学習等について交流学习を進める。その際、本校の修学旅行（台湾）において、姉妹校の生徒及び教員とワークショップやフィールドワークによる交流学习が展開できるよう指導計画の改善を行う。

(エ) 模擬農業法人の設立とそれを活用した農業経営学習【全学年】

模擬農業法人を設立し、農業経営の学習を充実させる。模擬農業法人の運営は、教育課程に位置付け、全学年での取組を推進する。また、学校農業クラブ活動等によって運営することも検討する。運営については、地域の農業経営者等の協力も得ながら、より実践的な農業経営学習の場となるよう、生産・加工、販売、マーケティング及び商品開発等の学習を深めることができる学習システムを構築する。

(オ) 産業界や継続教育機関等と連携した学習活動

a プロフェッショナルによる実践的な指導【全学年】

プロフェッショナルの高度な知識や技術、規範意識、倫理観等にふれることにより、専門性を深め、将来のプロフェッショナルに向けてのモチベーションを高め、主体的に学ぼうとする態度を身に付ける。

b 産業現場や継続教育機関等における実習【2学年】

産業現場や継続教育機関等における実習をとおして、農業の各分野における専門的な知識と技術を習得するとともに、望ましい勤労観・職業観を養う。

c 産業界や継続教育機関等との共同研究【2学年・3学年】

科目「課題研究」において、高品質な農産物・加工品等を生産するための技術開発や、地域産業（農業）の創生とグローバル化に関する研究活動をとおして、専門的な知識と技術の定着と深化、総合化を図るとともに、チャレンジ精神の育成を図る。

d 地域農業を担う人材育成のための研修会「農業未来塾」【全学年】

将来、地域で農業経営者を目指す生徒を対象に、より高度な農業経営に関する講演会、視察、技術講習会等を実践・検証する。

イ 地域産業（農業）の創生とグローバル化に対応したキャリア教育の充実に関する研究

(ア) キャリア教育の「基礎的・汎用的能力」に関する研究

将来のプロフェッショナルを育成するに当たり、社会で必要とされる「基礎的・汎用的能力」の4能力（人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力）の育成に関わる到達目標及び評価基準等について実践・検証する。具体的には、本校の教育活動をキャリア教育の「基礎的・汎用的能力」の育成の視点で捉え、キャリア教育の全体計画『『プロフェッショナルへの道』(学びのサクセスストーリー)』の改善を図る。

(イ) 指導の適時性に関する研究

将来のプロフェッショナルを育成するために、高校の3年間における教育活動の効果的な学習プログラムについて研究する。具体的には、キャリア教育の全体計画の中での学習プログラムのつながりを見直し、系統的・体系的な学習プログラムとなるよう指導の適時性に関する研究を進め、キャリア教育の全体

計画『『プロフェッショナルへの道』(学びのサクセスストーリー)』の改善を図る。その際、本校で実施している「キャリアサポート講座」の指導内容及び指導方法について研究する。

(ウ)「庄実版キャリアノート」の活用と充実に関する研究

将来のプロフェッショナルへの道筋を明確にするため、「庄実版キャリアノート」の実用と充実を図る。その際、小学校・中学校・高等学校と持ち上がってきた「わたしのキャリアノート」(広島県版)との接続を図るとともに、継続教育機関(大学進学:7年間,専修学校等〔農業技術大学校〕進学:5年間)へつなげるキャリアノートを活用する。

「庄実版キャリアノート」の活用に当たっては、個々の生徒が、自己の進路実現を目指して計画的に学習活動に取り組むための、羅針盤の機能をもたせたノートにしていく。また、本校での学習活動を通して、進路を実現していくために必要なストラテジーや情報を盛り込むとともに、生徒自身が学習計画や収集した情報等を記入することができ、かつ、自分自身が取り組んできたあゆみを振り返ることができる等のポートフォリオとして活用できるものに改善していく。

ウ 地域産業(農業)の創生とグローバル化に向けたネットワーク及び人材育成システムの構築

(ア)教育資源の発掘

地域にある「人」、「自然」、「文化」、「産業」等の教育資源を発掘し、リストアップするとともに、データベース化する。同様に、創立107年の歴史がある本校の教育資源も再発掘し、有効に活用できるよう整理する。その際、学校設定科目「地域農業探究」の学習内容等との関連を図り、学習内容を充実させる。

(イ)連携組織(教育ネットワーク)の構築

学校設定科目「地域農業探究」、産業現場や継続教育機関等における実習、プロフェッショナルによる実践的な指導、産業現場や継続教育機関等との共同研究等の学習プログラムを展開するに当たり、連携・協力を得ることができる「人」、「事業所」等をリストアップするとともに、連携組織を構築し活用する。

(ウ)地域における農業センターとしての機能化

本校にある「人」、「もの」、「技術」等の教育資源を積極的に地域に還元する仕組みを構築し活用する。特に、学校農場については、高品質な農産物等を生産している圃場等が、地域の“手本”となるよう整備を充実させる。

a 農家対象の研修会

和牛産地ブランドの復興に向けて、庄原市農業振興課・庄原市農業協同組合・広島県畜産事務所・広島県北部農業技術指導所で組織する「庄原市農業振興対策会議・畜産振興検討班」と連携し、「比婆牛ブランド復活プロジェクト

ト)に取り組む。「肥育牛の脂肪交雑推定装置」を用いた肉用牛の収益性の予測，出荷時期の判定及び飼育方法の見直し・改善を行い，その技術の普及に努める。また，乳牛の優良な受精卵を用いた受精卵移植を行うことで，高泌乳牛を得るとともに，能力の高い子牛を生産する取組を進め，酪農経営の改善につなげるモデルとする。

b 学校農場を開放した学びの場「庄実教育ファーム」づくり

本校の農場を開放し，地域の住民や小・中学生等が，作物や家畜等を見学し，農業生物の生態や農業技術について学ぶことができる教育ファームづくりを進める。また，本校の取組内容等が分かる看板を作製・設置する等，来校者に対して，生徒が自信をもって説明できる教育ファームづくりを進める。

c 小・中学生を対象とした農業体験研修「庄実アグリキャンプ」の開催

キャリア教育の一環として，長期休業中に小・中学生を対象とした農業体験「庄実アグリキャンプ」を充実させ，小・中学生の進路選択の一助にしよう。

d 保育所，小学校，中学校との交流学习や出前授業の実施

生徒が習得した専門的な知識と技術を活用し，保育所，小学校，中学校との交流学习や出前授業を行う。その際，本校の4つの学科が連携し，それぞれの専門性や特色を十分に生かして実施する。

(2) 研究開発の目標

ア 研究開発の目標

(ア) 学習プログラムの実践と検証

地域産業（農業）の創生とグローバル化に対応できるプロフェッショナル人材の育成に向けた学習プログラムを開発するとともに，開発した学習プログラムを学校の教育活動（カリキュラム）に位置付けて実践・検証する。その際，将来のプロフェッショナルになるための専門的な知識と技術，実践力の習得に関わる到達目標となる「庄実版スタンダード」を活用し，指導と評価の一体化を進め，教育活動の充実を図る。

(イ) キャリア教育の充実

地域産業（農業）の創生とグローバル化に対応したキャリア教育を充実させ，将来のプロフェッショナルの育成に関わるキャリア教育の「基礎的・汎用的能力」，「指導の適時性」，「キャリアノートの活用と充実（小学校・中学校・高等学校の接続）」を実践して，学校の教育活動（カリキュラム）に反映する。

(ウ) 連携組織（教育ネットワーク）及び人材育成システムの構築

地域産業（農業）の創生とグローバル化に対応できる将来のプロフェッショナルの育成に向けた連携組織（教育ネットワーク）及び人材育成システムを構築し活用する。

イ 定性目標・定量目標及び検証方法

生徒，教員，保護者及び協力者のアンケート調査（自己評価及び他者評価）や，記録簿・レポート等の作品及び資格取得状況等によって客観的に評価する。

(ア) 定性目標

研究開発		定性目標	効果測定
●学習プログラムの実践と検証			
育成すべき資質・能力	マインドに関する領域	○自己の在り方・生き方，価値観・倫理観，協調性，チャレンジ精神，郷土愛，異文化理解等の向上	■アンケート調査 ■観察法（行動，発言，発表，実技） ■作品法（ノート，プリント，作品）
	スキルに関する領域	○専門的な知識と技術，実践力の習得	■観察法（行動，発言，発表，実技） ■作品法（ノート，プリント，作品） ■アンケート調査 ■ペーパーテスト 等
学校設定科目「地域農業探究」の実践と検証	学校設定科目「地域農業探究」の実践	○学校設定科目「地域農業探究」の教材の充実	■作品法（成果物）
	学校設定科目「地域農業探究」の実践	○地域農業に対する興味・関心の向上 ○農業学習に対する意欲の向上 ○地域農業の理解	■自己・相互評価法 ■観察法（行動，発言，発表，実技） ■作品法（ノート，プリント，作品） ■アンケート調査 ■ペーパーテスト 等 ・生徒の満足度 ・保護者の満足度 ・教員の満足度 ・協力者等の満足度
国立関西高級中学（台湾）と連携した交流学习	国立関西高級中学（台湾）と連携した学習の内容の策定	○国立関西高級中学（台湾）と連携した学習の内容を策定	■作品法（成果物）
	国立関西高級中学（台湾）と連携した交流学习の実施	○海外の農業への興味・関心の向上 ○農業のグローバル化に対する課題意識とチャレンジ精神の向上 ○専門的な知識と技術の習得	■自己・相互評価法 ■観察法（行動，発言，発表，実技） ■作品法（ノート，プリント，作品） ■アンケート調査 ■ペーパーテスト 等 ・生徒の満足度 ・保護者の満足度 ・教員の満足度 ・協力者等の満足度
模擬農業法人	模擬農業法人の設立	○模擬農業法人の設立	■作品法（成果物）

の設立とそれを活用した農業経営学習	模擬農業法人を活用した農業経営学習の実施	○農業経営に対する興味・関心の向上 ○専門的な知識と技術の習得	<ul style="list-style-type: none"> ■自己・相互評価法 ■観察法（行動，発言，発表，実技） ■作品法（ノート，プリント，作品） ■アンケート調査 ■ペーパーテスト 等 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の満足度 ・保護者の満足度 ・教員の満足度 ・協力者等の満足度
産業界や継続教育機関等と連携した学習活動	プロフェッショナルによる実践的な指導の実施	○高度な知識と技術への興味・関心の向上 ○農業学習に対する意欲の向上 ○専門的な知識と技術の習得	<ul style="list-style-type: none"> ■自己・相互評価法 ■観察法（行動，発言，発表，実技） ■作品法（ノート，プリント，作品） ■アンケート調査 ■ペーパーテスト 等 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の満足度 ・保護者の満足度 ・教員の満足度 ・協力者等の満足度
	「庄実版デュアルシステム」による派遣実習の実施	○産業界や継続教育機関等に対する興味・関心の向上	
	インターンシップの実施	○望ましい勤労観・職業観の醸成	
	長期休業中を利用した先進地等における現場実習の実施	○専門的な知識と技術の習得	
	産業界や継続教育機関等との共同研究の実施	○地域農業の各分野への課題意識と貢献意欲の向上 ○専門的な知識と技術の深化・総合化	
地域農業を担う人材育成のための研修会「農業未来塾」の実施	○夢や目標の実現に向けた実践力の習得		
●キャリア教育の充実に関する研究			
キャリア教育の「基礎的・汎用的能力」	キャリア教育の「基礎的・汎用的能力」の育成に関する指導	○キャリア教育の「基礎的・汎用的能力」の習得	<ul style="list-style-type: none"> ■アンケート調査 ■観察法（行動，発言，発表，実技） ■作品法（ノート，プリント，作品）
指導の適時性	教育活動の実施に関わる効果的な時期と方法	○指導の適時性を踏まえた指導計画が完成 ○系統的・体系的な学習プログラムの確立 ○キャリアサポート講座の充実と機能化	■作品法（成果物）
「庄実版キャリアノート」の活用と充実	「庄実版キャリアノート」の作成と充実	○「庄実版キャリアノート」が完成	■作品法（成果物）
	「わたしのキャリアノート」（広島県版）との接続	○「わたしのキャリアノート」（広島県版）との接続ができた	<ul style="list-style-type: none"> ■アンケート調査 ・生徒の満足度 ・教員の満足度
●連携組織（教育ネットワーク）及び人材育成システムの構築			
教育資源の発掘	教育資源の発掘（地域・校内）	○教育資源の発掘できた	<ul style="list-style-type: none"> ■アンケート調査 ・生徒の満足度 ・教員の満足度

連携組織（教育ネットワーク）の構築	連携組織（教育ネットワーク）の構築	○連携・協力していただける「人」、「事業所」等のリストが完成	■作品法（成果物）
地域における農業センターとしての機能化	農家対象の研修会	○農業現場における課題意識の向上 ○専門的な知識と技術の習得	■自己・相互評価法 ■観察法（行動，発言，発表，実技） ■作品法（ノート，プリント，作品） ■アンケート調査 ■ペーパーテスト 等 ・生徒の満足度 ・保護者の満足度 ・教員の満足度 ・協力者等の満足度
	学校農場を開放した学びの場「庄実教育ファーム」づくり	○学校農場を開放した学びの場「庄実教育ファーム」を整備	■アンケート調査 ・生徒の満足度 ・教員の満足度 ・来校者の満足度
	「庄実アグリキャンプ」の学習プログラムの設定	○「庄実アグリキャンプ」の学習プログラムが完成	■作品法（成果物）
	小・中学生を対象とした「庄実アグリキャンプ」の開催	○本校の生徒が中心となり、「庄実アグリキャンプ」を運営	■アンケート調査 ・生徒の満足度 ・教員の満足度・参加者の満足度
	保育所，小学校，中学校との交流学习や出前授業の実施	○保育所，小学校，中学校との交流学习や出前授業を実施	■アンケート調査 ・生徒の満足度 ・教員の満足度 ・協力者の満足度

実施した事業実践の満足度については、下に示したように、評価の対象者を5段階で満足度を評価し、総合評価で「S」以上の評価レベルを得ることを目標とする。

評価の対象者	評価レベル（評価基準）	
①事業実践に参加した生徒の満足度 ②事業実践に参加した生徒の保護者の満足度 ③事業実践の学習プログラムの開発に携わった教員の満足度 ④事業実践の学習プログラムの開発に携わった協力関係者の満足度	5	とても満足
	4	満足
	3	普通
	2	あまり満足できない
	1	満足できない

総合評価は、評価項目（定性目標）の合計点を次の「S」から「C」の4段階で評定することとする。

各事業実践について、評価項目（定性目標）が10項目あれば、最高値 $5 \times 10 = 50$ ，最低値 $1 \times 10 = 10$ となる。

評定	数値	標準値
S	$40 \leq () \leq 50$	45
A	$30 \leq () < 40$	35
B	$20 \leq () < 30$	25
C	$10 \leq () < 20$	15

(イ) 定量目標

研究開発		定量目標	効果測定
●学習プログラムの実践と検証			
育成すべき資質・能力	マインドに関する領域		
	スキルに関する領域		
学校設定科目「地域農業探究」の実践と検証	学校設定科目「地域農業探究」の実践	○地域に対する理解：80%以上	<ul style="list-style-type: none"> ■実施状況（回数，日数等） ■参加者数 ■協力者数 ■資格取得状況（取得率，合格率等） ■成果物の状況（シラバス，学習指導案，ワークシート，庄実版キャリアノート，評価用アンケート等）
	学校設定科目「地域農業探究」の検証	○郷土愛：80%以上 ○地域に対する理解：80%以上	
国立関西高級中学（台湾）と連携した交流学习	国立関西高級中学（台湾）と連携した学習の内容の策定		
	国立関西高級中学（台湾）と連携した交流学习の実施	○実用英語技能検定4級取得率：50% ○実用英語技能検定3級取得率：30% ○実用英語技能検定準2級取得率：5% ○異文化理解：80%以上	
模擬農業法人の設立とそれを活用した農業経営学習	模擬農業法人の設立		
	模擬農業法人を活用した農業経営学習の実施	○農業経営学習に対する関心・意欲：80%以上	
産業現場や継続教育機関等と連携した学習活動	プロフェッショナルによる実践的な指導の実施	○専門的な知識・技術に対する関心・意欲：80%以上	
	「庄実版デュアルシステム」による派遣実習の実施	○実習に対する満足度：80%以上	
	インターンシップの実施	○実習に対する満足度：80%以上	
	長期休業中を利用した先進地等における現場実習の実施	○実習に対する満足度：80%以上 ○職業に対する意欲の高まり：80%以上	
	産業界や継続教育機関等との共同研究の実施	○専門分野に対する関心・意欲：80%以上 ○日本農業技術検定2級合格：60%以上	
	地域農業を担う人材育成のための研修会「農業未来塾」の実施	○農業経営に対する関心・意欲：80%以上 ○農業簿記検定3級合格：60%以上	
●キャリア教育の充実に関する研究			
キャリア教育の「基礎的・汎用的能力」	キャリア教育の「基礎的・汎用的能力」の育成に関する指導		
指導の適時性	教育活動の実施に関わる効果的な時期と方法		<ul style="list-style-type: none"> ■実施状況（回数，日数等） ■参加者数 ■協力者数 ■資格取得状況（取得率，合格率等） ■成果物の状況（シラバ
「庄実版キャリアノート」の活用と充実	「庄実版キャリアノート」の作成と充実		
	「わたしのキャリアノート」（広島県版）との接続		

			ス、学習指導案、ワークシート、庄実版キャリアノート、評価用アンケート等)
●連携組織（教育ネットワーク）及び人材育成システムの構築			
教育資源の発掘	教育資源の発掘（地域・校内）	○発掘した教育資源の数：5つ以上	<ul style="list-style-type: none"> ■実施状況（回数、日数等） ■参加者数 ■協力者数 ■資格取得状況（取得率、合格率等） ■成果物の状況（シラバス、学習指導案、ワークシート、庄実版キャリアノート、評価用アンケート等）
連携組織（教育ネットワーク）の構築	連携組織（教育ネットワーク）の構築	○協力事業所等の数：各学科10事業所以上（新規）	
地域における農業センターとしての機能化	農家対象の研修会	○専門分野に対する関心・意欲：80%以上 ○自己に対する有用感：80%以上	
	学校農場を開放した学びの場「庄実教育ファーム」づくり	○愛校心の醸成：80%以上 ○地域への貢献意欲：80%以上 ○学校農場の見学者数：60人以上	
	「庄実アグリキャンプ」の学習プログラムの設定		
	「庄実アグリキャンプ」の開催	○リーダーシップの高揚：80%以上 ○達成感：80%以上 ○「庄実アグリキャンプ」の参加者数：10人	
	保育所、小学校、中学校との交流学習や出前授業の実施	交流学習や出前授業の実施回数：各学科3回以上 ○リーダーシップの高揚：80%以上 ○達成感：80%以上	

(3) その他

ア 研究開発の取組に関する情報発信

S P H事業の取組状況については、本校のW e b ページに専用のページを設け、その取組内容を随時掲載し、情報発信する。また、全国規模のコンクールや発表会等にも積極的に参加し、S P H事業の取組内容を情報発信する。

年度末（2月ころ）には、公開の「研究成果報告会」を開催し、関係高等学校及び教育関係者等に広く情報発信するとともに、研究成果報告書を全国農業高等学校長協会の理事校へ配付するなど、研究成果の普及に努めることとしている。

5. 実施体制

(1) 運営指導委員会

氏名	所属・職名	役割分担・専門分野等
入船 浩平	県立広島大学生命環境学部ワールド科学教育センター長・教授	委員長（座長）、指導助言 生物科学（分子生物学）
片島 一平	庄原農業協同組合・代表理事組合長	指導助言、農業の振興
國西 修司	広島県立農業技術大学校・校長	指導助言、農業（畜産）
久保田 憲司	産業技術短期大学・講師	指導助言、キャリア教育
島津 宏	庄原市指導農業士会・会長	指導助言、農業経営
谷 英彦	広島県農林水産局販売推進課・課長	指導助言、農業政策
長岡 廣樹	庄原市商工会議所・会頭	指導助言、産業の振興
松永 幹司	庄原市農業振興課・課長	指導助言、農業政策
松岡 洋一郎	アサヒビール株式会社 アサヒの森環境保全事務所・所長	指導助言、森林保全、環境教育
村田 和賀代	県立広島大学生命環境学部 生命科学科・准教授	指導助言、農業経済学（農業経済学）
山内 文雄	社会福祉法人 庄原市社会福祉協 議会・会長	指導助言、社会福祉の振興
吉村 薫	広島県教育委員会事務局教育部 高校教育指導課長	指導助言、教育行政

(2) 研究担当者

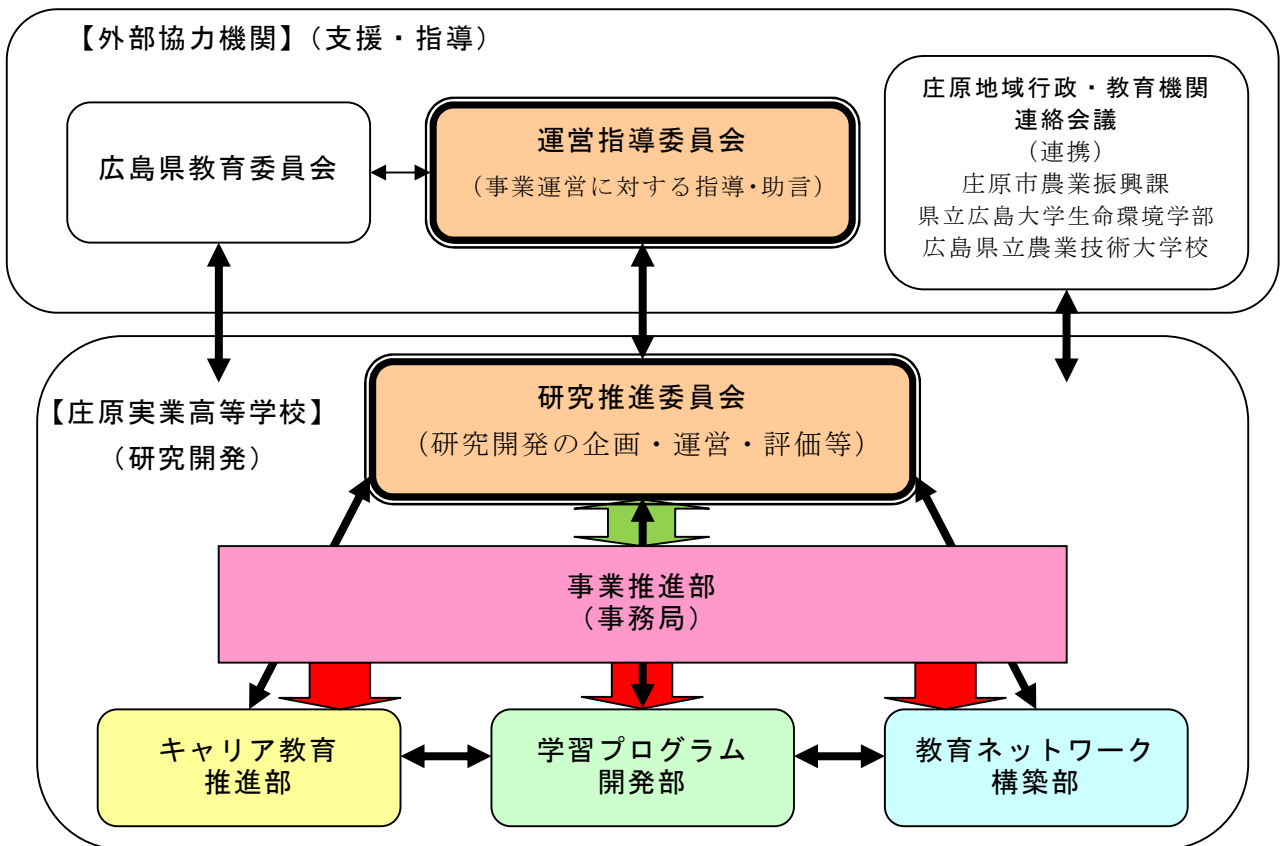
氏名	職名	役割分担・担当教科
黒川 元治	教諭	◎研究開発主任（事業統括）・教科「農業」（食品工学）
金谷 智範	教諭	○研究開発副主任・教科「農業」（環境工学）
石田 正己	教諭	○渉外・広報部長・教科「外国語」
林 和則	教諭	○学習プログラム開発部長・教科「外国語」
堂前 克己	教諭	○キャリア教育推進部長・教科「数学」
徳永 隆志	教諭	○教育ネットワーク構築部長・教科「農業」（生物生産学）
藤川 浩	教諭	○渉外・広報副部長・教科「農業」（食品工学）
辻 貞義	事務主幹	○事業推進副部長・事務
菟原 智行	教諭	○学習プログラム開発副部長・教科「農業」（生物生産学）
繁山 信治	教諭	○キャリア教育推進副部長・教科「農業」（環境工学）
曾根田喜久夫	教諭兼 実習助手	○教育ネットワーク構築副部長・教科「農業」（食品工学）
大岡 廉	主任実習助手	渉外・広報部・教科「理科」
見田 豊	主任実習助手	渉外・広報部・教科「農業」（生物生産学）
河野 恵子	教諭	渉外・広報部・教科「国語」
藤田 美穂	教諭	渉外・広報部・教科「国語」
植木 豊	教諭	渉外・広報部・教科「農業」（環境工学）
中本 友美	教諭	渉外・広報部・教科「農業」（食品工学）
小川 裕子	教諭	渉外・広報部・教科「地歴・公民」
村田 公人	教諭	渉外・広報部・教科「芸術」
熊澤 直美	事務主幹	渉外・広報部・事務
倉岡 喜史	事務主幹	渉外・広報部・事務
時安 亮	主事	渉外・広報部・事務
山口 公二郎	教諭	学習プログラム開発部・教科「国語」
篠原 凡	教諭	学習プログラム開発部・教科「地理歴史・公民」
大平 慎一	教諭	学習プログラム開発部・教科「理科」
ジョセフ・ ベネット	A L T	学習プログラム開発部・教科「外国語」（英語）
山重 敬一	教諭	学習プログラム開発部・教科「農業」（生物生産学）
前田 奈緒里	教諭	学習プログラム開発部・教科「農業」（食品工学）
宮地 結加	教諭	学習プログラム開発部・教科「家庭」（生活科学）
森藤 太	教諭	学習プログラム開発部・教科「農業」（生物生産学）
河内 康弘	教諭	学習プログラム開発部・教科「農業」（環境工学）
大島 優子	教諭	学習プログラム開発部・教科「家庭」（生活科学）
宮本 正展	教諭	学習プログラム開発部・教科「農業」（生物生産学）
山岡 由美	助教諭	学習プログラム開発部・教科「家庭」（生活科学）
堀之口達也	教諭	学習プログラム開発部・教科「農業」（食品工学）
下川 民子	教諭	学習プログラム開発部・教科「農業」（生物生産学）
門永 万実	実習助手	学習プログラム開発部・教科「農業」（生物生産学）
妹尾 臣昇	主任実習助手	学習プログラム開発部・教科「農業」（生物生産学）

益田 圭	実習助手	学習プログラム開発部・教科「農業」(生物生産学)
中村 香織	教 諭	学習プログラム開発部・教科「理科」
大石 結加	教 諭	キャリア教育推進部・教科「福祉」(生活科学)
出口 彰	教 諭	キャリア教育推進部・教科「保健体育」
佐々木 光流	教 諭	キャリア教育推進部・教科「保健体育」
三原 慶子	教 諭	キャリア教育推進部・教科「保健体育」
山本 円	教 諭	キャリア教育推進部・教科「家庭」(生活科学)
梅木 一郎	教 諭	キャリア教育推進部・教科「農業」(食品工学)
赤木 由美	教 諭	教育ネットワーク構築部・教科「家庭」(生活科学)
久保 秋登	主任実習助手	教育ネットワーク構築部・教科「農業」(生物生産学)
佐伯 光緒	実習助手	教育ネットワーク構築部・教科「農業」(生物生産学)
信清 秀夫	実習助手	教育ネットワーク構築部・教科「農業」(環境工学)
渡部 さゆり	主任実習助手	教育ネットワーク構築部・教科「家庭」(生活科学)
宮本 妙子	養護教諭	教育ネットワーク構築部・養護

(3) 研究推進委員会

氏 名	所属・職名	役割分担・専門分野等
澤井 晃	広島県教育委員会事務局教育部 高校教育指導課・指導主事	指導助言・教科「農業」
八幡 茂見	広島県立庄原実業高等学校・校長	相談役・教科「地理歴史・公民」
森多 浩文	広島県立庄原実業高等学校・教頭	相談役・教科「保健体育」
増原 祐子	広島県立庄原実業高等学校・ 総括事務長	相談役・事務
黒川 元治	広島県立庄原実業高等学校・教諭	◎研究開発主任(事業統括)・ 教科「農業」
金谷 智範	広島県立庄原実業高等学校・教諭	○研究開発副主任・教科「農業」
石田 正己	広島県立庄原実業高等学校・教諭	○渉外・広報部長・教科「外国語」
林 和則	広島県立庄原実業高等学校・教諭	○学習プログラム開発部長・ 教科「外国語」
堂前 克己	広島県立庄原実業高等学校・教諭	○キャリア教育推進部長・教科 「数学」
徳永 隆志	広島県立庄原実業高等学校・教諭	○教育ネットワーク構築部長・教 科「農業」
藤川 浩	広島県立庄原実業高等学校・教諭	○渉外・広報副部長 教科「農業」
辻 貞義	広島県立庄原実業高等学校・ 事務主幹	○事業推進副部長・事務
菟原 智行	広島県立庄原実業高等学校・教諭	○学習プログラム開発副部長・教 科「数学」
繁山 信治	広島県立庄原実業高等学校・教諭	○キャリア教育推進副部長・ 教科「農業」
曾根田喜久夫	広島県立庄原実業高等学校・ 教諭兼実習助手	○教育ネットワーク構築副部 長・教科「農業」

(4) 研究推進体制



6. 研究内容別実施時期

研究内容	実施時期											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
資質・能力に関する研究												
「地域農業探究」の開発と実践												
台湾国立関西高級中学												
模擬農業法人の設立と農業経営学習												
プロによる実践的な指導												
産業現場等での実習												
産業界等との共同研究												
農業未来塾												
キャリア教育の「基礎的・汎用的能力」に関する研究												
指導の適時性に関する研究												
キャリアノートに関する研究												
教育資源の発掘												
教育ネットワークの構築												
農家対象の研修会												
「庄実教育ファーム」づくり												
庄実アグリキャンプ												
保育所、小・中学校との交流学習・出前授業												
運営指導委員会												
研究推進委員会												
情報発信												

※ 実施時期は、事業計画書提出時のものであり、実際の事業着手は契約締結後とする。

7. この事業に関連して補助金等を受けた実績

補助金等の名称	交 付 者	交 付 額	交付年度	業務項目
なし	なし	なし	なし	なし

8. 知的財産権の帰属

() 1. 知的財産権は受託者に帰属することを希望する。

(○) 2. 知的財産権はすべて文部科学省に譲渡する。

9. 再委託に関する事項

再委託業務の有無 有 ・ (無)

II 委託事業経費

別紙1に記載

III 事業連絡窓口

別紙2に記載